



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年2月13日

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥村英夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 菅原 勲

TEL 03-6418-4391

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	658	△12.1	8	△87.1	△3	—	△18	—
25年3月期第3四半期	749	△5.0	69	△24.0	103	△21.3	106	△6.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △4百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 126百万円 (△5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△0.24	—
25年3月期第3四半期	1.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,532	3,857	65.0	45.93
25年3月期	4,800	3,863	75.3	46.17

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,595百万円 25年3月期 3,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	830	△10.5	2	△95.6	△20	—	△30	—	△0.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) — 、 除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	78,317,466 株	25年3月期	78,317,466 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	32,032 株	25年3月期	32,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	78,285,434 株	25年3月期3Q	71,145,984 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融・財政政策を背景に円高是正・株価回復が進み、企業業績や個人消費が一部改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、不動産事業では、東京都港区西麻布のテナントビルの安定した賃料収入を確保するとともに、同ビルの住居部分を取得したことにより、平成25年10月から新たに住居部分の賃料収入を得ることができました。しかしながら、平成24年11月に東京都世田谷区代沢のテナントビルを売却したことや、平成25年9月下旬に温浴施設建設のため東京都新宿区歌舞伎町の駐車場運営を終了したことなどにより、前年と比べ収入が減少しました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ24.8%減少し1億3千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ30.3%減少し9千7百万円となりました。

繊維事業では、第2四半期に引き続き平成25年10月以降も大手ブランドや既存取引先に対して安定した受注を得ることができた結果、売上高は前年同四半期に比べ83.4%増加し6千2百万円、営業利益は6百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

化粧品事業では、採算性を重視したOEM受注に努めた結果、売上高は前年同四半期に比べ30.3%減少し1億8千6百万円となりました。しかしながら、コスト削減の効果や貸倒引当金繰入額の減少などにより、営業利益は0.8百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にて、天候に恵まれなかった8月から10月を除いては月別の来場者数がいずれも前年を上回った結果、売上高は前年同四半期に比べ2.5%増加し2億7千3百万円となりました。しかしながら、貸倒引当金繰入額の増加などにより、営業利益は前年同四半期に比べ22.6%減少し3千4百万円となりました。

なお、平成25年9月下旬に、東京都新宿区歌舞伎町の温浴施設建設資金の一部として金融機関から融資を受けた際の登記費用6百万円、融資実行手数料1千9百万円を支払い、東京都港区西麻布のビル住宅部分取得等の資金として金融機関から融資を受けた際の登記費用3百万円を支払いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6億5千8百万円（前年同四半期比12.1%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比87.1%減）、経常損失3百万円（前年同四半期は経常利益1億3百万円）、四半期純損失1千8百万円（前年同四半期は四半期純利益1億6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、東京都港区西麻布の建物取得などにより前連結会計年度末と比較して7億3千1百万円増加し、55億3千2百万円となりました。負債は、長期借入金増加などにより前連結会計年度末と比較して7億3千7百万円増加し、16億7千5百万円となりました。純資産は、利益剰余金が減少したことなどにより前連結会計年度末と比較して5百万円減少し、38億5千7百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、6千6百万円減少し、11億8千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、2千4百万円（前年同四半期は3千5百万円の獲得）となりました。これは、主に仕入債務の増加や利息及び配当金の受取額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8億9百万円（前年同四半期は1億6千3百万円の獲得）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出や差入保証金の差入による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、7億1千7百万円（前年同四半期は2千万円の使用）となりました。これは、主に長期借入れによる収入であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月14日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,248,917	1,181,998
受取手形及び売掛金	97,602	122,059
商品及び製品	11,402	17,085
仕掛品	2,671	1,204
原材料及び貯蔵品	37,426	38,057
販売用不動産	305,160	305,882
短期貸付金	282,532	31,896
その他	45,054	28,983
貸倒引当金	△6,345	△2,684
流動資産合計	2,024,422	1,724,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	185,333	301,670
機械装置及び運搬具（純額）	37,710	34,702
工具、器具及び備品（純額）	14,857	19,350
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,092,241	2,278,075
建設仮勘定	53,242	549,071
有形固定資産合計	2,745,610	3,545,095
無形固定資産		
のれん	11,702	8,191
借地権	—	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	360	460
無形固定資産合計	14,149	94,185
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	28,606	180,489
貸倒引当金	△12,515	△12,014
投資その他の資産合計	16,691	169,074
固定資産合計	2,776,450	3,808,355
資産合計	4,800,873	5,532,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,851	24,501
短期借入金	—	75,600
1年内返済予定の長期借入金	26,714	64,188
未払法人税等	12,592	3,389
未払金	16,936	24,330
その他	54,191	68,318
流動負債合計	129,285	260,328
固定負債		
長期借入金	281,554	889,511
資産除去債務	2,789	2,837
再評価に係る繰延税金負債	46,331	45,882
長期預り金	442,813	440,827
その他	34,970	36,087
固定負債合計	808,458	1,415,146
負債合計	937,744	1,675,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,374,765	3,374,765
資本剰余金	149,940	149,940
利益剰余金	7,979	△10,110
自己株式	△2,076	△2,076
株主資本合計	3,530,608	3,512,518
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	83,667	82,856
その他の包括利益累計額合計	83,667	82,856
新株予約権	6,211	6,211
少数株主持分	242,641	255,777
純資産合計	3,863,128	3,857,363
負債純資産合計	4,800,873	5,532,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	749,410	658,647
売上原価	452,793	415,394
売上総利益	296,616	243,252
販売費及び一般管理費	227,207	234,324
営業利益	69,409	8,928
営業外収益		
受取利息	33,139	4,001
受取配当金	11	9
有償見本	2,161	8,582
その他	10,616	12,437
営業外収益合計	45,928	25,031
営業外費用		
支払利息	6,823	10,492
減価償却費	1,093	1,029
有償見本費用	2,193	6,773
支払手数料	—	19,047
その他	1,712	611
営業外費用合計	11,823	37,953
経常利益又は経常損失 (△)	103,513	△3,993
特別利益		
固定資産売却益	33,293	—
負ののれん発生益	—	540
債務免除益	—	2,000
特別利益合計	33,293	2,540
特別損失		
固定資産除却損	182	0
事務所移転費用	1,087	168
減損損失	—	1,260
特別損失合計	1,270	1,428
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	135,537	△2,881
法人税、住民税及び事業税	9,296	1,686
法人税等調整額	△18	△467
法人税等合計	9,277	1,218
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	126,259	△4,099
少数株主利益	19,327	14,801
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	106,932	△18,900

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	126,259	△4,099
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	126,259	△4,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,932	△18,900
少数株主に係る四半期包括利益	19,327	14,801

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	135,537	△2,881
減価償却費	30,997	33,297
減損損失	—	1,260
のれん償却額	3,510	3,510
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,111	△4,162
受取利息及び受取配当金	△33,150	△4,011
支払利息	6,823	10,492
有形固定資産売却損益(△は益)	△33,293	—
有形固定資産除却損	182	0
負ののれん発生益	—	△540
売上債権の増減額(△は増加)	4,321	△24,457
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,516	△5,568
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,190	5,649
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,077	△1,999
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△5,577
長期預り金の増減額(△は減少)	△1,969	△1,985
その他の資産の増減額(△は増加)	△35,398	15,640
その他の負債の増減額(△は減少)	△52,325	25,407
小計	16,562	44,074
利息及び配当金の受取額	33,147	3,981
利息の支払額	△6,861	△10,755
法人税等の支払額	△7,558	△12,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,290	24,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,240	△825,921
有形固定資産の売却による収入	83,922	—
無形固定資産の取得による支出	—	△83,445
無形固定資産の売却による収入	150,648	—
差入保証金の差入による支出	△11,000	△150,000
差入保証金の回収による収入	58	400
子会社株式の取得による支出	—	△1,125
貸付金の回収による収入	11,934	250,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	163,323	△809,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	75,600
長期借入れによる収入	—	674,000
長期借入金の返済による支出	△18,783	△28,569
リース債務の返済による支出	△1,237	△3,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,020	717,624
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,593	△66,919
現金及び現金同等物の期首残高	737,050	1,248,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	915,643	1,181,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	180,319	34,131	267,958	267,000	749,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,082	—	1,082
計	180,319	34,131	269,041	267,000	750,492
セグメント利益又は損失(△)	140,040	△2,867	△1,934	44,696	179,934

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	179,934
のれんの償却額	△3,510
全社費用(注)	△107,014
四半期連結損益計算書の営業利益	69,409

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	135,582	62,604	186,679	273,781	658,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	135,582	62,604	186,679	273,781	658,647
セグメント利益	97,547	6,836	843	34,605	139,833

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で893,167千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加や従来から区分所有している東京都港区の西麻布ビルの住居部分を新たに取得したことによる「建物」、「土地」及び「借地権」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	139,833
のれんの償却額	△3,510
全社費用（注）	△127,394
四半期連結損益計算書の営業利益	8,928

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。